

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間 1	履修区分	必修修	使用教科書	
添削指導回数	1	面接指導回数	1	単位認定試験回数		副教材等	

学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は災害大国と言われる理由について知り、いつどこでどのような災害が起こってもおかしくない状況の中で生活をしていることを理解している。</li> <li>・自然災害のメカニズムについての知識をもつためにそれぞれの課題に合ったデータを獲得し、考察できている。</li> <li>・身のまわりに起こり得る災害問題に対し、自ら関心をもち、探求しようとしている。</li> </ul>
--

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（システムは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票による減免なし
単位認定試験	単位認定試験なし
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
災害時の備えと緊急時に身を守るための方法	1	①	I・II・III期				知識・技能 万が一災害に直面した時に、どのような行動をとるべきか、また災害に応じた自身やまわりの人の命を守るための行動について理解している。さまざまな災害についての知識をもつことで、自身の居住地域や日本の地理的条件などに関心をもち、災害の発生する条件や対策について理解している。	
							思考・判断・表現 課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積している。さまざまな災害についての事象を比較し、そこから派生する多くの問題について推測するなど深い考察力をもっている。学習活動を振り返り、目的や意図に応じて倫理的に表現することができており、学習活動を振り返って、学習や生活に生かしている。	
							主体的に学習に取り組む態度 実効性のある取り組みに向け、他者の意見も参考にしながら自身の意見をまとめ、協働して取り組もうとしている。なぜ、特定の自然災害が増えてきているのか等、グローバルな視点から考察し、いざというときに対応できる能力を身に付けようとしている。	

令和8年度 年間指導計画

鹿島学園高等学校 通信制課程

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間2	履修区分	必修	使用教科書
添削指導回数	1	面接指導回数	1	単位認定試験回数		副教材等

学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境は人間の生活様式により変化してしまうものであることを理解し、持続可能な環境の実現には国境を越えた問題も多くあることを理解している。</li> <li>・持続可能な世界にしていくために、自身の課題をみつけ、その解決に向けて仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案している。</li> <li>・未来に残すべき環境づくりに向けた多くの取り組みについて理解し、自らの意思で探究しようとしている。</li> </ul>
--

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（システムは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票による減免なし
単位認定試験	単位認定試験なし
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各单元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

单元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
SDGsの目標を達成するために解決すべき社会の課題	1	①	I・II・III期				<b>知識・技能</b> 持続可能な環境に関する国際的な調査結果を、課題目的に応じ収集している。持続可能な環境の実現に向け、グローバルな視点でそれらの問題に取り組んでいる国内外の組織や多くの人々が存在することに気づいている。 <b>思考・判断・表現</b> 課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段で選択して収集し、類別して蓄積している。環境問題の事実や関係を整理し、事象を比較したり、因果関係を推測したりして分析している。SDGsの目標を達成するために解決すべき課題について、倫理的に表現し、学習したことを生活に生かしている。 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> 実効性のある取り組みに向けて、自他の考えを生かしながら、協働して取り組もうとする姿勢がみられる。持続可能な自然環境を次世代につなぐために、自らが当事者であることの自覚をもって、グローバルな視点に立って環境づくりに貢献し続けようとしている。	

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間3	履修区分	必修	使用教科書
添削指導回数	1	面接指導回数	1	単位認定試験回数		副教材等

学習の目標

性自認や性的指向が人それぞれであることを尊重し、誰もが自分らしく生き生きと活躍する社会を実現するために多様な性のあり方を受け入れる必要性を理解している。  
 性自認及び性的指向を理由とする不当な差別や偏見がある現状を踏まえ、その解決に向けて仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案している。  
 性的マイノリティの方々が直面する問題やその解消のために必要とされる取り組みを理解するとともに、自らの意思で探究に取り組もうとしている。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（システムは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票による減免なし
単位認定試験	単位認定試験なし
単位修得	(認定)に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
性的マイノリティへの理解と多様性に開かれた社会を実現するための方法	1	①	I・II・III期				知識・技能 多様な性のあり方について正確に収集・理解している。性的マイノリティの方々が直面する問題について理解し、性自認や性的指向は人間が本来持っている多様性の一つであることに気付いている。	
							思考・判断・表現 課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積している。性的マイノリティの方々の心理を、事象を比較したり、因果関係を推測したりして整理・分析している。相手や目的、意図に応じて、論理的に表現し、学習活動を振り返って、学習や生活に生かしている。	
							主体的に学習に取り組む態度 性自認や性的指向が原因で問題に直面した方の心に寄り添うために、他の考えを尊重しながら、自分自身はどうすべきか、考察しようとしている。性的マイノリティやその周囲という立場に、突然自らも当事者として置かれる可能性があることの自覚をもち、他を思いやる視点に立って一人ひとりが輝くための環境づくりに貢献し続けようとしている。	

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間4	履修区分	選択	使用教科書
添削指導回数	1	面接指導回数	1	単位認定試験回数		副教材等

学習の目標

昨今で多発しているインターネット上でのトラブルについて、具体的な事例を挙げながら騙されないための対応や気をつけるべき点、巻き込まれてしまった場合の対処法について考察する。インターネットの匿名性を理解し、詐欺や性犯罪など犯罪行為に対する警戒心を養う。さらに、SNSなどを使用する際、顔の見えない相手に対する個人情報の取り扱いについて理解し、実際に起きたトラブルを参考に対応策を考えることができる。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（システムは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票による減免なし
単位認定試験	単位認定試験なし
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各单元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

单元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
安全にインターネットを活用するための知識と心構え	1	①	I・II・III期				<p><b>知識・技能</b> 実際に身近で起きているインターネットにまつわるトラブルについての調査結果を目的に応じた適切さで正確に収集・理解していた。インターネットを使ったコミュニケーションにおいて発生しやすい問題について学び、正しい利用のためには、冷静な対応や節度を守った使用など、リテラシーを身に付けることが大切であることに気付くことができた。</p> <p><b>思考・判断・表現</b> 課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積することができた。インターネットにのめり込んでしまったり不適切な使用をしてしまう事象を比較し、因果関係を推測して整理・分析することができた。相手や目的・意図に応じて、論理的に表現し、学習活動を振り返って学習や生活に生かしている。</p> <p><b>主体的に学習に取り組む態度</b> 実際にインターネット上の誹謗中傷の被害にあわれた方の心に寄り添うために、他を思いやる視点に立って、自分自身はどう振る舞うべきか考察することができた。インターネット上において加害者または被害者という状況に置かれてしまったという事例について学んだ上で、突然自らも当事者となってしまう可能性があるという自覚をもち、正しい使用方法について模索しようとしている。</p>	

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間5	履修区分	選択	使用教科書
添削指導回数	1	面接指導回数	1	単位認定試験回数		副教材等

学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>薬物は心身共に身を減らし、人生を一変させてしまうものであること、薬物が日本や世界で蔓延している現状には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や国内外の組織があることを理解している。</li> <li>薬物乱用防止の方策を検討することを通じて、課題を見つけ、その解決に向けて仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案している。</li> <li>薬物のない環境づくりをどのように実現するか考察するとともに、自らの意思で探究に取り組もうとしている。</li> </ul>
--

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（システムは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票による減免なし
単位認定試験	単位認定試験なし
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各单元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

单元名（教科書ページ）	添削指導		面接指導				単位認定試験	観点別評価	
	No.	開講番号	開講期	視聴票		観点		評価規準	
				NHK高校講座	教科書DVD				
薬物乱用が心身や社会にもたらす影響と防止のための対策	1	①	I・II・III期				知識・技能	違法薬物が心身に及ぼす悪影響に関する調査結果を、種類ごとに正確に収集している。薬物乱用の防止やその危険性の啓発に関しての理解は、警察や学校等様々な人々や国内外の組織が長年取り組み続けている課題であることに気付いている。	
							思考・判断・表現	課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積している。少年の薬物乱用の実態、薬物の有害性・危険性等について、事実や関係を整理し、事象を比較したり、薬物に手を染める原因を推測したりして分析している。相手や目的、意図に応じて論理的に表現し、学習活動を振り返って、学習や生活に生かしている。	
							主体的に学習に取り組む態度	薬物の使用を誘われた際にどのように断るか、他と協議し、自他の考えを生かしながら、考察しようとしている。薬物蔓延のない社会を次世代で実現するために、自らが主体的に蔓延防止に取り組む存在であることの自覚をもって、社会環境づくりに貢献し続けようとしている。	

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間6	履修区分	選択	使用教科書
添削指導回数	1	面接指導回数	1	単位認定試験回数		副教材等

学習の目標

AIなどのテクノロジーの発達が社会にもたらす影響について理解し、これらが今後社会にどのような変革をもたらすか考察する。さらに、膨大なデータを収集・解析し、それらがもたらす情報を活用することにより、今後どのような新しいサービスや価値が生み出される可能性があるか主体的に学ぶ。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（システムは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票による減免なし
単位認定試験	単位認定試験なし
単位修得	（認定）に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導		面接指導				単位認定試験	観点別評価	
	No.	開講番号	開講期	視聴票		観点		評価規準	
				NHK高校講座	教科書DVD				
テクノロジーの発達が社会にもたらす影響への考察とそれらを活用するための基礎的な知識	1	①	I・II・III期				知識・技能	テクノロジーの発展とそれが社会にもたらした影響について、正確に理解することができた。データの利活用の重要性やそれらを正しく使う責任について理解し、個人や企業の経済活動において、テクノロジーの発達による恩恵によって社会が日々進化していることに気付くことができた。	
							思考・判断・表現	課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積することができた。AIの特徴について整理し、活用する際のメリットやデメリットを比較して分析することができた。相手や目的・意図に応じて、論理的に表現し、学習活動を振り返って、学習や生活に生かしている。	
							主体的に学習に取り組む態度	データをを活用する意義を理解しそれらを進んで守るとともに、それらの活用方法のさらなる可能性について主体的に学ぼうとしている。データサイエンスと社会との関連性について着目し、自立した社会人として正しい活用方法について考え、社会を発展させるためのさらなる方法を模索しようとしている。	